

自己評価票

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	代表取締役をはじめとするスタッフ一同、理念を大切に受け止め、サービス向上に努めています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月に一度実施しているミーティングにて事例の解決など、理念に立ち返り取り組んでいます。		
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	目に付くところへ明示しているほか、重要事項説明書にも明記し口頭でも理解していただけるよう説明しています。		
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様との散歩時に皆さんと交わす挨拶をはじめ、近所のスーパー、美容院、床屋、花屋を利用時馴染みの関係作りに努めています。		
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会主催の行事を始め、ゴミゼロ運動へも利用者様と職員が参加しています。また、地域の小中学校の運動会や文化祭にも参加させてもらっていただいています。		
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議にて民生委員の方より状況をうかがっています。		地域の高齢者の方が抱えている現状について、把握するだけではなくグループホームとして役に立てればと考えています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス向上のチャンス、ヒントとして受け止めています。		
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	話し合いの結果、早速現場に活かした例もありましたが、過去の実施回数が少ない為、改善努力が必要だと思っています。		毎回同じ方々の参加ではなく、話し合う内容に応じ参加者を変えることで皆様の負担を増やさないようにと考えております。
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	担当者の方より、専門的な事を含め、様々な事で助言などご協力いただいています。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	施設外研修へ職員が参加し得たものを他の職員へ報告、資料提供しています。		

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	千葉県高齢者権利擁護、身体拘束廃止研修への参加をはじめ、施設内においても法令の勉強をミーティングなどで実施しています。		
4. 理念を実践するための体制						
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書をお渡しし、口頭でも説明し理解していただいて始めてサインしていただくようにしています。		
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特別な機会を設けるのではなく日々のコミュニケーションを大切にしています。訴えを少なくすることが目標では無く、何でも言える雰囲気を大切にし、また言った甲斐があったとも思っただけの環境を大切にしています。		
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りの作成のほか、個々のご家族へは職員から月に一度利用者様の事を中心に報告のお手紙をお渡ししています。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	窓口は重要事項説明書に明記している他、玄関には意見箱を設置しております。		
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回のミーティングは代表取締役にも参加していただき、職員一人一人の意見も聞いてもらっています。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者様中心で全てが回っているので職員各自、自然と体制を整えながら業務に付いています。夜勤の体制も各ユニットずつ業務に付いています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の職員の異動があった場合は、まず利用者様に挨拶をするようにしていますが、どちらのユニットにしようグループホームのスタッフなので、皆様に馴染みのあるスタッフと思っただけのように対応しています。		
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外研修は適応者全ての職員、平等に機会を頂いている他、各自のステップアップにつなげられるように資料(介護技術のDVD等)の提供やテレビ放映などの情報提供までもしてくれています。		
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉県グループホーム連絡会(第6ブロック、外房)主催の研修会などへの参加を実施しています。また、市役所の方にもそういった場を作って欲しい旨依頼しています。		他のグループホーム職員の見学も受け付け、実施し始めたところです。

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	グループホーム職員のほか、デイサービスや宮本内科医院、薬局の職員と交流を深めつつ、夏にはボーリング大会や食事会、年末には忘年会を実施して下さっています。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	代表取締役には夜勤者が必ず申し送りを実施しているので現場の状況を把握してくれています。また日中には利用者様とお茶を一緒に飲んでくれたりと時間を共有してくれています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず最初は来て頂く事が多いので連絡先などを聞いた上で、その後こちらから伺い少しずつ距離を縮めながら訴えに傾聴する姿勢を大切に、また訴えを少しでも多く引き出せるようにしています。相談内容に関しては対応策を代表取締役をはじめ職員全員で話し合います。		
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族に対しても上記と同じですが、その他にグループホームのこともよく理解していただき相互の助け合いの方法を見つけられるようにしています。		
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	我々に対応できない事があれば同意を得た上で関係機関をはじめとする他の事業のところへ連絡し依頼しています。		
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所される前にご家族だけではなく、なるべく本人も一緒に見学へ来ていただくようにしている。他は、本人にあったペースでその都度対応しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事作りや食後の食器拭き、居室の掃除、リネンの交換、洗濯物干しやたたむ事、花の水遣り等、決して職員の仕事を手伝う為ではなく、一緒に日常生活を送っているつもりで共に実施しています。		
28		本人と共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	情報提供を始め、行事の参加や起案等、ご家族の協力なくしては、利用者様の信頼は得られないと考え、力を借りています。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	月に1回職員からご家族へ宛てた手紙の作成を利用者様にも一緒に参加して頂くこともあります。		ご家族が行事へ参加しやすいように計画表を目に付くところへ張り出す予定です。

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の確認を得た上で面会時などはプライベートな時間を配慮し、一緒にお茶やお菓子を召し上がりながら過ごしていただけるように対応しています。		
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている	共に仲良く穏やかに過ごされるのも大切ですが、人間らしく手が出ない程度に言い合うことも大切だと思っています。何でも事前に防ぐことばかりに気をとられず、後のフォローを大切にするように努めています。		
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	相談があったり協力を必要とされるご家族との連絡は時々取るようにしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式C-1-1、C-1-2を職員全が記入することにより、利用者様の意見を客観的に捉えるのではなく、自分だったらと考えることができるようになり、さらにはその利用者様の事をどれだけ理解できているのかが分かりケアの質の向上へつながっています。		
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の協力の下情報収集に努め、利用者様への対応に活かしています。またセンター方式A-1、A-2、A-3、B-1シートなどを活用し、職員全員が把握できるように努めています。		
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	月一度のケアカンファレンスを通して多くの職員が個々に捕らえた利用者様の色々な思いを話し合いサービス提供に活かしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月一度のケアカンファレンスにて話し合い、ご家族には個々に口頭で説明し意見を聞いています。またモニタリングやアセスメントの実施も職員一人一人の意見が反映されるように努めています。		
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成して	急な体調変化などによるプランの変更は随時行っています。		
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活をタイムリーに記録、薬の服用、バイタルチェックの記入も実施して業務日誌の記入も実施しています。これらの情報を活かしてセンター方式の活用にも取り組んでいます。		

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	我々にできることがあれば可能な限り対応できるよう努力しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近くにお住まいの活花のボランティアの方々や、利用者様も参加される避難訓練には消防署の方々等、多くの方々のご協力を得ています。		
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今後、希望される方がいれば実施できるように日頃から他事業所とコミュニケーションを図るなど体制を整えています。		
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	これまで適応する事例が無かった為、実施できていません。		必要な状況になった場合に対応できるよう今後活動していきたいと思っています。
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	最低でも月に2回は宮本内科医院の協力によりご利用者の定期健診を実施していただき、直接先生にはご家族からの質問にも答えていただいています。		
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症による幻覚、妄想等の症状にも宮本内科医院の先生により対応方法を的確に指示いただいています。また時々ミーティングにも参加していただき職員の質問などに対しても、とても分かりやすく説明していただき、質の向上へむけて協力していただいています。		
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設のデイサービスの看護士に協力していただいています。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連	入院の際には必ず職員が同席し病院スタッフへ申し送りを必ず実施しています。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	これまでも宮本内科医院の先生に協力していただきご家族との相違が無いよう常に信頼関係を深めるようにしています。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期の方々を支える為には、私たちの力を過信せず、様々な事業所と連携できるように宮本内科医院の先生の指示の下、対応しています。これまでも訪問看護サービスの事業所にご協力いただいたこともありました。		

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の店所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでに適応する事例がないものの、日頃からコミュニケーションを図り体制を整えています。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1) 一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	徹底して対応しています。特に職員同士の申し送りなどには十分気を付けています。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	全ての中心は利用者様であると職員全員が理解しています。また利用者様には何をしてもらいたいかではなく何をしたいかと思っていただけるように支援しています。		
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の過ごし方の多くは利用者様が決定できるように職員が選択肢をいくつも用意し選んで決められるよう支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	多くの方々近所の理、美容院を利用していますが、別の所を希望される方も知るのでその都度対応しています。また、お店と利用者様とで馴染みの関係もできていて年賀状のやり取りなどもしています。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様が気が進んだ時に、得意なことを活かして実施しています。		
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	好きなものを一方的に用意するのではなく、一緒に買いに行ったり、一緒に食べに行ったり等個々の対応にも心がけています。		
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように支援している	トイレでの排泄を心がけています。入所されてからリハビリパンツ等必要ない方は本人の下着を使用されています。		
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	いつでも入浴は実施できるよう体制は整えていましたが、現在は利用者様の希望で、1日おきに午後実施することが多いです。		
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	リビングのソファや皆さんの居室など、勝手気ままに過ごせるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩、買い物、調理、掃除などそれぞれ好きな事が違うので、個別に対応し、1日1日が有意義に過ごせるよう支援しています。		
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が使用する日用品の買い物など、時々個別で実施しているほか、利用者様同士でのプレゼントもご家族同意の上で実施しています。		
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎朝、「本日の予定は？」と伺っています。		
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	昔行ったうなぎ屋に行ってみたい等、外出先をはじめ、海へのドライブなど「へ行きたい」と言う望みをできるだけ受け入れる事で、皆さんが望みを失わないようにしています。		
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望される時には電話などされています。また月に一度、ご家族へ手紙をスタッフから書いていますが、時々、利用者様にも書いていただいたり、便箋のイラストの色塗りをさせていただくなどしています。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族の方だけではなく、古くからの友人の方々や自宅にいた時のご近所の方々が来てくださっています。いらした時は皆さんの居室で過ごされたり、リビングで過ごされたりと気ままにされています。		
(4)安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	千葉県高齢者権利擁護、身体拘束廃止研修への参加を実施し職員全員が理解できるようミーティングなどで確認しています。また、理解したうえで身体拘束は必要なく、今後も実施するつもりもありません。		
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に常時人がいる状況ではないので、不法侵入を防ぐ為に内側から鍵を掛けていますが、決して施錠の目的は利用者様の行動の制限ではないので外出されたい場合は自由に明けられるように配慮しています。		
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	危険が伴う場合などは、職員が必ず1対1で個別に対応し、利用者様が人を避ける場合は見守りにて対応しています。		
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	以前はまったく必要なかったものの、ミーティングなどを通してヒヤリハットなどを活用し、現在は少しずつ必要な物のみ保管場所の配慮をしています。		

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいます	月1回のミーティングにて確認しています。		
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	月1回のミーティングにて確認しているほか、マニュアルを作成し参考にしています。		
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、避難訓練を実施し、そのうちの1回には消防署の予防課の方々にも参加・ご指導を頂き、的確に対処できるように努めています。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々のご家族と介護計画説明時に口頭で説明し相互に理解しあえるように努めています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	宮本内科医院の協力の下、わずかな変化でもすぐ先生へ報告し対処していただく体制を整えています。		
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診時に対応した職員は必ず申し送りノートを利用し全員に報告するようにし、処方された薬の内容に付いては全員が確認できるように記録ファイルしています。		
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便の有無の確認と対応には日頃から注意しています。生活の仕方、飲食物の工夫はもちろん、医療面からも対応できるよう宮本内科医院にも協力していただいています。		
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの実施は徹底しています。宮本内科医院の先生からもなぜ口腔ケアが大切なのかなどの説明を職員へしていただいています。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	徹底して実施しているほか、全員が確認できるように記録もしています。		
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス)	外部研修へ参加しマニュアルも作成しています。		
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、夜勤者が調理器具などを消毒しています。食材は近所のスーパーを中心に週3回利用者様と一緒に買い物へ行っています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1) 居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の入居者にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花を植えたプランターを置いたりとできる限り雰囲気作りに努めています。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	強い日差しの対応等には、日よけを使う等の対応をしています。		

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の奥にあるソファなどを利用し皆さん思い思いに過ごされています。また利用者様同士居室を訪ねあったりされています。		
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の方が持って来て下さっています。馴染みの物が無ければ一緒に買い物へ行き、本人の気に入ったものを購入し、使用しています。		
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気の対応をしています。また、空気洗浄器を設置し、利用者様が調節のできないエアコン操作は職員が行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、浴槽の滑り止めマット等を現在は利用し、今後も必要であれば工夫していく予定です。		
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	お一人お一人に役割分担が出来上がっていて全員が必要な存在で、その事を皆さんも理解されています。		
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	家庭菜園や洗濯物を干したりできるようにしています。また、時々はお茶なども飲むようテーブルなども設置しています。		

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己評価	外部評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者がころへ出かけている 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

【千葉県】グループホーム輝の杜

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない